

バビースモによる糖尿病黄斑浮腫の治療をされている  
患者さんのための定期情報誌

# Viewtiful Life

【ビューティフルライフ】

スタート号



“神奈川県 晴れるよ” ©F\_Photo(クリエイティブ・コモンズ【表示4.0国際】ライセンス) <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>

## CONTENTS

- 教えて先生！～なんでも相談室～  
.....
- 患者さん・ご家族のための周辺情報  
.....
- 読み書きのためのお役立ち情報  
.....
- ご自宅で見え方チェック

総合監修

五味 文先生

兵庫医科大学眼科学教室 主任教授



監修 枚本 昌彦 先生

山形大学医学部 眼科学教室 教授

Q1

## 糖尿病黄斑浮腫とはどのような病気ですか？

眼の奥には「網膜」という視覚の情報を認識するための薄い膜があり(図1①)、その中心部にある、ものの形・色・大きさなどを見分けるのに特に重要な部分を「黄斑」といいます(図1②)。糖尿病により高血糖の状態がつづく、網膜の血管が傷つきもろくなって血管から血液の成分が漏れ出し、黄斑にたまることがあります。このようにして黄斑に浮腫(むくみ)が生じた状態が「糖尿病黄斑浮腫」です。

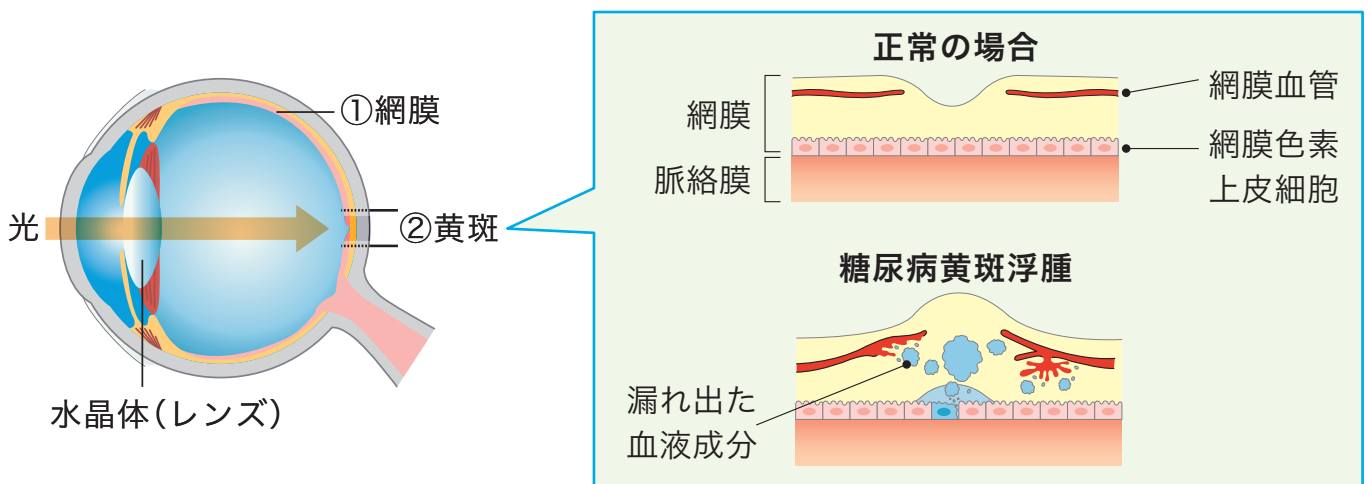


図1 糖尿病黄斑浮腫の発症イメージ

中外製薬Webサイト「見えるをいつまでも.jp」では、糖尿病黄斑浮腫について動画でわかりやすく解説しています。ぜひ右記の二次元コードからご参照ください。  
[https://mieruwoitsumademo.jp/byouki/tounyoubyo-ouhanfushu\\_video/](https://mieruwoitsumademo.jp/byouki/tounyoubyo-ouhanfushu_video/)



黄斑に浮腫が生じると、目がかすむ、ゆがんで見える、色の違いがわかりにくくなるなどの症状が表れます。病気が進行すると、視力低下や失明の危険があるため注意が必要です。

Q2

## 糖尿病黄斑浮腫は治療することで治りますか？

糖尿病黄斑浮腫は早期に発見して治療のタイミングを逃さないことで視力の低下を抑えられる可能性があります。いったん症状の進行がゆるやかになったとしても、また急に悪くなることもあるので、油断はできません。病状に合わせて通院と治療を継続することによって視力を維持することが、糖尿病黄斑浮腫の治療の目標です(図2)。

また、糖尿病黄斑浮腫の治療では基礎疾患である糖尿病の治療をしっかりと行うことも大切ですので、内科通院と生活習慣の改善も継続して取り組みましょう。

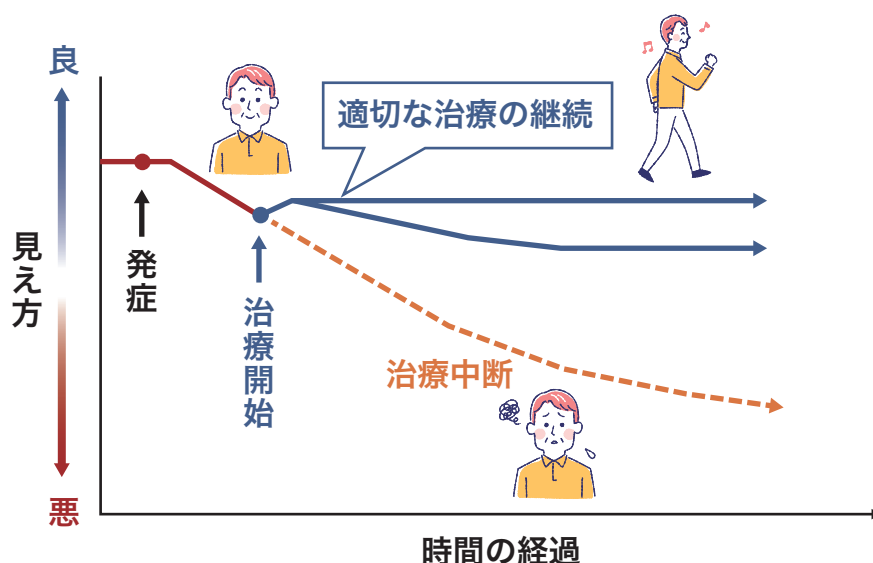


図2 見え方の経過イメージ